

関西学院大学 2026 年度 大学院入学試験要項

言語コミュニケーション文化研究科 博士課程後期課程

4 月（春学期）入学

アドミッション・ポリシー

言語コミュニケーション文化研究科は、高度な言語コミュニケーション能力を備え、建学の精神に基づく豊かな人間性と国際的視野をもった、高度の学問的専門性を備えた人材を輩出し、社会に貢献することを理念としています。その理念を実現するために、後期課程では次のような人材を求め、入学試験要項に定める試験科目を設定し、入学者選抜を行います。

- ・言語コミュニケーション文化に関する専門領域において、広く深い知識、研究を進める上で必要な技能、高度な言語運用能力を身に付け、研究やビジネスにおいて国際的に活躍したいと考えている人
- ・言語コミュニケーション文化に関する専門領域において、急速に国際化や情報化が進む社会に対応できる、専門的かつ学際的な思考力や判断力、研究成果を世界へと発信するに十分な表現力を身に付け、国際的に活躍できる英語および日本語教員を目指している人
- ・言語コミュニケーション文化に関する専門領域において、先端的研究テーマを設定し、先行研究を踏まえつつ、自ら調査や実験・分析を行い、独創的研究をしたいと考えている人

博士課程後期課程入学試験

I. 課程・専攻・募集人員

課程	専攻	入学定員※	募集人員
博士課程後期課程	言語コミュニケーション文化	3 名	3 名

※ 入学定員とは、本研究科における一学年の定員を指します。

II. 出願期間・試験日・合格発表日

出願期間※ ¹	試験日	合格発表日※ ²
2026 年 1 月 21 日(水)～ 1 月 28 日(水)15:00	2 月 20 日(金)	2 月 26 日(木)9:00

※¹ 出願最終日の出願受付は 15:00 までです。

※² 合格発表は、本研究科事務室前に掲示をするとともに、志願票に記載の住所・氏名宛に合否通知を速達で郵送します。また、合否に関する電話での問い合わせには、一切応じません。

III. 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位を有する者および 2026 年 3 月までに修士の学位を得る見込の者。
- (2) 専門職学位を有する者及び 2026 年 3 月までに専門職学位を得る見込の者。
- (3) (1)または(2)と同等以上の外国の学位もしくは国際連合大学の学位を有する者および 2026 年 3 月までに学位を得る見込の者。
- (4) 外国の大学において教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。

- (5) 個別の入学資格審査により、(1)又は(2)と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、入学時 24 歳に達する者。

<入学(受験)資格審査(個別資格審査)>

上記(5)の資格により受験を希望される場合は、本研究科ホームページ内「入試情報(入試情報ページへ)>言コミ 入学(受験)資格審査」より、申請方法を確認の上、出願する入学試験の出願期間開始日の2週間前までに申請書類を提出してください。なお、入学(受験)資格審査は申請書類により行います。

IV. 出願手続

1. 出願方法

出願期間内に、入学検定料を納入の上、出願書類を本研究科へ郵送(出願最終日は 15:00 まで必着)または持参してください。

(1) 入学検定料の納入

入学検定料：35,000 円

<コンビニエンスストアでの納入>

末頁の「コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法」を参照の上、手続をしてください。

<金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)の窓口での納入>

「電信扱」で納入してください。納入後、(B)(C)票に金融機関の出納印があることを確認してください。現金自動預払機(ATM)及びインターネットバンキングからの振込みは受け付けません。(A)票に記載の金融機関の本・支店から振込む場合は手数料は不要です。取扱金融機関の出納印をもって、関西学院の領収とみなします。納入締切日の出納印まで有効です。なお、金融機関により出納日付の取り扱いが異なりますので、締切間近に納入される場合には、事前に金融機関にご確認ください。また、(B)票は領収書です。本人が大切に保管してください。

(注意事項)

- ・ 日本国外から入学検定料の納入を希望する者は、必ず出願期間開始日までに事務室に問い合わせてください。
- ・ 身体に障がいがあり、受験および入学後の就学に際して特別の配慮を必要とする志願者は出願する入学試験の出願期間開始日の1カ月前までに本研究科に申し出てください。
- ・ 入学後、健康診断を行いますので、出願時または入学手続時に健康診断書を提出する必要はありません。
- ・ 一度納入した入学検定料および提出書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 出願手続について疑問がある場合は、本研究科事務室まで問い合わせてください。

(2) 出願書類の提出

<郵送の場合>

簡易書留郵便にて、後掲『問い合わせ』に記載の住所を確認の上、本研究科事務室まで、出願期間内に必着(出願最終日は 15:00 まで必着)するよう送付してください。なお、封筒の表に「言語コミュニケーション文化研究科後期課程 4 月(春学期)入学願書在中」と朱書きしてください。

<持参の場合>

受付時間を確認の上、出願期間内に、本研究科事務室まで、持参してください。

受付時間：平日 9:30～11:30 および 12:30～15:00

※ 土曜日・日曜日・祝日は閉室。

2. 出願書類

(注意事項)

- ・ 出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。
- ・ 指定された出願書類以外の書類を提出された場合にも、選考には使用できません。

①入学願書	・ 入学検定料を納入の上、(C)～(E)票を提出してください。 ・ 論述試験の出題領域を1つ選択して所定欄に記入してください。なお、選択後は変更できません。出題領域は次ページの「V. 試験時間・試験内容・試験場」の「1. 論述試験」を参照してください。 ・ 外国語能力試験の受験言語を1つ選択して所定欄に記入してください。なお、選択後は変更できません。受験言語は次ページの「V. 試験時間・試験内容・試験場」の「2. 外国語能力試験」を参照してください。 ・ (D)票に記載された住所へ受験票を送付しますので、必ず受け取りのできる住所を記入してください。
②演習担当教員志望書	・ 後掲の『◆志望する演習担当教員の選択』を参照のうえ、担当教員を1名選び、必ず出願前に連絡を取って研究内容について確認した上で「志望する演習担当教員」欄に記入してください。なお、教員の連絡先については事務室までお問い合わせください。
③成績証明書	・ 出身大学院作成のもの（原本）を提出してください。 ・ 日本語、英語、中国語のいずれかの言語で作成された証明書を提出してください。（上記3ヵ国語以外の場合は、在日公館等で正しいと認証を受けた訳文を添付してください。）
④修了(見込)証明書	・ 出身大学院作成のもの（原本）を提出してください。ただし、成績証明書に修了(見込)年月日の記載があれば不要です。 ・ 大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者は、学位授与証明書を提出してください。 ・ 日本語、英語、中国語のいずれかの言語で作成された証明書を提出してください。（上記3ヵ国語以外の場合は、在日公館等で正しいと認証を受けた訳文を添付してください。） ・ 中国※の大学または大学院を卒業／修了した者、在学中の者は、以下の書類を提出してください。 〈中国※の大学または大学院を卒業／修了した者〉 出身大学作成の卒業証明書に加えて、CSSD(学信网)が発行した「Online Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate」(「教育部学历证书电子注册备案表」の英語版)のコピーを提出してください。 〈中国※の大学または大学院に在学中の者〉

	出身大学作成の卒業見込み証明書に加えて、「Online Verification Report of Student Record」(「教育部学籍在线验证报告」の英語版)のコピーを提出してください。 ※台湾、香港、マカオの大学または大学院は除く いずれも受験日の時点で有効であるものを提出してください。提出できない場合は、言語コミュニケーション文化研究科に申し出てください。
⑤履歴書	本研究科所定用紙に本人が日本語で入力してください。パソコン等で直接 Word ファイルに入力の上、出力したものを提出してください。ただし、何らかの事情によりパソコン等で入力できない場合には、手書きでの提出でも可とします。
⑥研究計画書	3,000 字以内(ワープロ使用、A 4 判用紙・縦、横書き、40 字×35 行で設定、表紙不要、冒頭に氏名およびタイトル「研究計画書」を記載)で作成してください。本研究科所定の用紙はありません。
⑦修士論文または これに代わる業績 とその概要	以下の 1) と 2) のいずれかを提出してください。 1) 修士論文 1 部とその概要(日本語、7,000 字以内、ワープロ使用、A 4 判用紙・縦、横書き、40 字×35 行で設定) 4 部。 2) 修士論文に代わる業績 1 部とその概要(日本語、7,000 字以内、ワープロ使用、A 4 判用紙・縦、横書き、40 字×35 行で設定) 4 部。 - 本研究科所定の概要記入用紙はありません。なお、修了見込の場合の修士論文またはこれに代わる業績については、提出した修士論文またはこれに代わる業績のコピーを提出してください。 - 出願資格(4)により受験を希望される方で、業績が無い場合は、後期課程入学後の詳細な研究計画書(10,000 字程度。書式は上記⑥と同じ)を提出してください。
⑧その他	- 各証明書(上記③成績証明書、④修了(見込)証明書の姓が旧姓となっている場合は、現在の姓との関係を証明できる公的書類(戸籍抄本等)を提出してください。 - 在留カードのコピー(A4 サイズの用紙) 在留カードをお持ちの方は全員提出してください。外国人留学生で在留カードをお持ちでない方は、パスポート(氏名及び在留資格・在留期間が記載されている頁)のコピーを提出してください。 - 出願資格(4)により受験を希望される方は、外国の大学において教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があることを証明する書類を提出してください。

◆ 志望する演習担当教員の選択

必ず出願前に連絡を取って研究内容について確認した上で演習担当教員志望書に記入してください。事前相談は、研究分野及び研究科との親和性をご確認いただくために実施します。事前相談の内容が合否に影響することはありません。演習科目担当予定教員は、要項公開後に変更が生じる可能性があります。変更が生じた場合は、本研究科ホームページ内「入試情報（入試情報ページへ）＞言コミ 入試要項等」でお知らせしますので、入学願書の「志望する演習担当教員」欄の記入に際しては、必ず変更の有無をご確認ください。

2026 年度入学生の演習科目担当予定教員（五十音順）

石川 圭一、伊藤 正範、**茨木 正志郎**、上田 和彦、内田 充美、大東 和重、
オストハイダ テーヤ、氏木 道人、住吉 誠、田中 裕幸、谷 明信、塚田 幸光、**寺沢 拓敬**、
田 禾、中川 慎二、中野 陽子、西村 正男、藤野 真子、松宮 園子、宮原 一成、森本 郁代、
山田 一美、ハンス ペーター リーダーバッハ

教員の研究内容・研究領域等は研究科パンフレット、研究科ホームページ、研究者データベース (<http://researchers.kwansei.ac.jp/>) 等の資料を参照してください。

V. 試験時間・試験内容・試験場

試験時間	試験内容		試験場
9:00～10:00	筆記試験	外国語能力試験 (日本語を母語（第一言語）とする志願者のみ)	西宮上ヶ原キャンパス (受験票※2にて通知)
10:20～11:20		論述試験	
13:00～※1	口述試験		

※1 口述試験の開始時間は志願者によって異なります。

※2 受験票は試験の約 1 週間前に発送します。

1. 論述試験

言語コミュニケーション文化に関する学術論文を作成する能力を有しているかを問う問題です。下記の 4 つの出題領域から出されたテーマについて時間内に日本語で論述するものとします。受験を希望する出題領域を 1 つ選択して、志願票に記入してください。なお、辞書等の使用は一切認めません。

＜出題領域＞言語科学、言語文化学、言語教育学、日本語教育学

2. 外国語能力試験

博士課程前期課程修了程度の外国語能力を有しているかを問う問題です。日本語を母語（第一言語）とする志願者のみ受験する必要があります。以下の受験言語から 1 つ選択して、志願票に記入してください。なお、辞書等の使用は一切認めません。

＜受験言語＞英語、フランス語、ドイツ語、中国語

3. 口述試験

口述試験は、研究計画書および修士論文またはこれに代わる業績に基づいて実施します。また、外国語能力試験で選択した外国語の運用能力も口述試験により確認します。

(注意事項)

- ・ 論述試験、外国語能力試験（日本語を母語（第一言語）とする志望者のみ）、口述試験の結果をもとに合否を判定します。
- ・ 受験票は必ず携行してください。紛失や当日忘れた場合は本研究科事務室まで申し出てください。
- ・ 携帯電話を時計として試験中に使用することはできません。
- ・ 論述試験および外国語能力試験は、試験開始 15 分前までに試験場に入室・着席しておいてください。試験開始後 30 分以上遅刻した場合は受験することができません。
- ・ 口述試験は、指定された集合時刻までに受験者控室に入室・着席しておいてください。指定された集合時刻から 15 分以上遅刻した場合は受験することができません。
- ・ 不正行為者は全試験を無効とします。

入学手続

合格者は所定期間内に入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

1. 入学手続Ⅰ＜入学申込金の納入＞

所定用紙を用い、入学（申込）金を下記期間内に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行は不可）の窓口で納入してください。

4 月（春学期）入学	2026 年 2 月 26 日(木) ～ 3 月 5 日(木)
------------	---------------------------------

＜金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)の窓口での納入について＞

「電信扱」で納入してください。振込依頼書に記載の金融機関の本・支店から振込む場合は手数料は不要です。取扱金融機関の出納印をもって、関西学院の領収とみなします。納入締切日の出納印まで有効です。なお、金融機関により出納日付の取り扱いが異なりますので、締切間近に納入される場合には、事前に金融機関にご確認ください。現金自動預払機（ＡＴＭ）及びインターネットバンキングからの振込みは受け付けません。

2. 入学手続Ⅱ＜学費・その他の諸費の納入および書類の提出＞

以下の①および②を完了してください。関係書類については、合格通知と同時に本研究科より送付します。

① 学費・その他の諸費の納入

上記「1. 入学手続Ⅰ」同様、金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行は不可）の窓口で納入してください。納入方法は上記「1. 入学手続Ⅰ」と同様です。なお、納入締切日は、2026 年 3 月 13 日(金)です。

② 書類の提出

次の書類を 2026 年 3 月 13 日(金)15:00 までに、本研究科に提出してください。郵送する場合は期間内に必着するよう送付してください。

- イ. 「住民票記載事項証明書」（市区町村発行 本学に入学する者の氏名、住所、生年月日、性別の証明のあるもの。「住民票の写し」でも可。外国人の場合は前述に加え、国籍、在留資格、在留期限の証明のあるもの。）
- ロ. 「学生証顔写真貼付台紙」（本学所定用紙）
- ハ. その他（「入学手続のご案内」に記載されている提出書類）

3. 入学式

2026 年 4 月 1 日(水)10:00(予定) 西宮上ヶ原キャンパス

(注意事項)

- ・ 入学手続期間（ⅠおよびⅡ）内に所定の手続を完了しない場合は、入学の意思がないものとみなし、入学許可を取り消します。
- ・ 一度納入した入学申込金または入学金は返還いたしません。
- ・ 入学手続Ⅰの期間内に納入した入学申込金(入学金と同額)は、学費・その他の諸費の納入と同時に入学金として取り扱います。
- ・ 一度納入した入学金以外の学費・その他の諸費は、定められた期間内に所定の手続きをすれば返還の請求ができます。なお、詳細は合格通知に同封する「入学手続のご案内」を参照してください。
- ・ 提出書類は返還しません。
- ・ 本研究科の事務取扱時間は、平日 8:50 から 16:50（11:30 から 12:30 は除く）です。

入学試験過去問題

過去 3 年度に実施した入学試験（筆記試験のみ）の過去問題を公開します。過去問題を請求される方は、本研究科ホームページ内「入試情報（入試情報ページへ）>言コミ 入試過去問題」より、請求方法を確認してください。

問い合わせ

言語コミュニケーション文化研究科事務室（所在地：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス G 号館 1 階）

住所	電話番号	ホームページ URL
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155	0798-54-6180	https://www.kwansei.ac.jp/g_language/

以上